

三原市地域おこし協力隊便り 高坂町 2019年3月

人口6人三原市の離島、小佐木島でフィールドワークをした際に、この島の歴史として、木造船の造船が大きく占める事を知りました。御歳90歳になる区長さんは数十年前、この島で木造船を作っていたそうですが、いまやFRPや鉄の船が主流となり、木造船の船大工の技術は失われつつあるそうです。

小佐木島には船の設計図が神社に奉納され、至るところに造船の名残りがあり、代々船大工をされていた家には伝馬船の設計図が残っていました。

この一枚板に描かれた設計図で船大工は船を作るそうです。

道具と船小屋は残っているのですが、この島で木造船を作る環境はありますが、90歳の区長さんお一人では、力仕事は難しい。

瀬戸内の穏やかな風土が育んだ木造船の造船技術、失われる事なく後世に残せる様、技術継承できるプロジェクトを立ち上げたいと思いました。

